

特別企画

ワールドカップ日本代表メンバーにお話を伺いました！



坂手淳史（さかてあつし）
フッカー
京都府出身、帝京大卒。前季 TL 年間表彰でベストフイフティーンを受賞。2019-2020 シーズンのキャプテン。身長 180 cm 体重 104 kg



松田力也（まつだりきや）
スタンドオフ／センター
京都府出身、帝京大卒。ワールドカップでは初戦のロシア戦でプレースキックを成功させ存在感を示す。身長 181 cm 体重 92 kg

去る 12 月 16 日、太田市のパナソニック・ワイルドナイツ・グラウンドにて、ラグビーワールドカップ 2019 日本代表メンバーの松田選手、坂手選手のお二人にお話を伺うことができました。聞き手として、お父様がワイルドナイツの元選手という大泉町出身の女優・内藤理沙さんにもご参加いただきました。

事業団： まずはベスト 8 おめでとうございます。さて、お二人とも群馬県勢の選手として紹介されていましたが、お住まいはどちらなんですか？

坂手・松田： 二人とも太田です。

事： じゃあ、すぐお隣ということですね。先日、東京で開催された祝勝パレードがたいへん話題になりました

たが、ご参加されていかがでしたか？

松：平日にもかかわらず、5万人くらいでしたっけ？

内藤：すごい人出でしたよね。行きたかったな～。

松：あの中を歩けるなんてすごく嬉しくて、たぶん一生に一度だろうなと思いました。

坂：車じゃなくて歩きたったので、ファンの方との距離がけっこう近くて。沿道には5列くらいで並んで見てくださって、ビルの中からもたくさんの方が手を振ってくれて嬉しかったです。

内：皆さんお揃いのスーツ姿が素敵でした。ラグビー選手が着ると、カッコイイですね！

坂：ギャップですかね？いつも半そで、短パンだから(笑)

事：あのスーツって？

坂：チームのスーツです。寸法測ってもらう特注品です。みんな肩幅とかに合わせて、他のサイズがおかしくなっちゃうんで。(笑)

事：同じく最近の話題で、流行語大賞の「ワン・チーム」。やはりこの言葉は、今回の大躍進のポイントだったのでしょうか。

坂：ワン・チームという言葉は先にありましたけど、その言葉に対して厳しいトレーニングとか、みんなで3年間かけて積み上げて来た色々な事がらがかくついていって、言葉の重みがどんどん大きくなっていったと思います。結果的にこの言葉で、ラグビーというスポーツが一段と盛り上がったとすると、よけいに嬉しいですね。

事：選手だけじゃなくて、応援している人たちも、この言葉でより強く結びつけたように思います。

内：家族と予選最後のスコットランド戦に行きましたが、スタジアムがその言葉のままだと感じました。ラグビーをあまり知らない子とかも、その言葉で一つにまとまっていたと感じました。

松：ラグビーだけではなく会社や学校とか、色々な場所で使える言葉だと思います。だからこそ流行語に選ばれたのでしょう。いっぱい言葉を使ってもらえるのは嬉しいです。

事：今回ワールドカップが始まる前に、色々な国とテストマッチをされて、順調に日本のチームが仕上がってきていると感じましたが、大会直前の南アフリカ戦に苦戦されていたようで、ちょっと心配になりました。

坂：僕たちとしては逆に、自分たちのやってきた練習の手ごたえが感じられた試合でした。ちょっとしたミスで失点したりしましたが、細かい部分をきちんと修正できれば、自分たちの戦い方が十分に通用するといった自信が持てた試合でした。

松：出来上がってきた自分達のスタイルに対しての手応えが感じられました。接戦にならなかったことが逆に良かったと思います。変な自信を持つより、力の差をはっきりさせられた上で、やりたい事ができればトップチームにも通用するとわかって、いい形でワールドカップに望めたと思います。

事：予選プールAで戦った相手で、一番手強かったチームは？

松：どこのチームも手強かったですね…ロシア戦も苦戦しましたし、アイルランドやスコットランドは評判通りの強いチームですし、やりたい事をやれば勝てる自信はありましたが、全てが強いチームでした。

事：最初のロシア戦ではずみがついたように思いましたが、あの試合が苦戦だった？

坂：僕たちとしてはあまり良くなかったですね。勝ち点をとらなければいけないと、変なプレッシャーがかかってしまった試合でした。いつもやらないミスをしたり、これが開幕戦だなと感じました。

松：みんな硬かったのが、相手の得点につながってしまったりしましたが、悪い状況の中でも勝ち点をとれて良かったと話してました。怖い試合でしたね。

事：今回の対戦順は、流れとしては理想的ではと感じましたが？

松：自国開催で各試合も一週間空いたり、身体としてはとてもよい状況でした。

坂：順番は良かったですかね。ただあの試合順を見たとき、ベスト8に進めるかは最後のスコットランド戦の結果までわからないと思いました。

事:そのスコットランド戦、理沙さんはスタジアムでご覧になっていかがでしたか？

内:テレビで観るのとは全然って、みんなのこの応援が届けばいいなと思っていました。

坂:届いてましたよ！今回の応援は震えました。試合ごとに大きくなって行って…。

松:あの静かな「君が代」大きなうねりになって、ハモっているように聴こえて、そんな事初めてでした。スタジアム全員が味方に感じられて、あれは「ワン・チーム」でしたね。

内:その中に入れてよかった～！！

坂:内藤さんが入ってなかったら負けてたかもしれない。(笑)

内:父が30年前に、関東代表でスコットランドと戦って、すごい点差で負けてしまって、ユニホームすら交換してもらえなかったらしくて、今回のインタビューで、選手にお会いしたら、「ありがとう！」と伝えてと言われました。私と母は、試合にユニホームを着て行ったんですけど、せっかくだから3人で着ようって父を誘ったら、「パパは着られない」って、負けたから今は着ちゃいけないって、何の責任感？って(笑)

事:実力あってこそですが、この日本開催の時に代表選手で出られたのは、運が良かったというのがありますかね。

坂:実は自分が15歳の時に、10年後に日本でワールドカップが開催されると知って、そこを目指してましたね。

内:そんなに前から？

事:お二人とも高校時代から、ワールドカップ日本大会を目指していた？

坂:10年後は遠かったですけど、25、6歳で身体もベストの頃だし、練習をしていく中で、だんだん現実味を感じてきました。

事:練習を重ねて、それが結果に繋がったからこそですね。

松:一番ハードワークをしていたのは、日本代表だと思いますね。

坂:もうやりたくない(笑)。宮崎合宿がキツかったですね。3回あったのですが、朝昼晩と練習があって、その夜にスクラムを組んだりとか、昼はタックルの練習をしたりとか、盛り沢山の一日でしたね。10日間やって、それがまたあと2回くるのかと思うと…(笑)

松:勝てたからよかったですけどね、これで負けてたらもうなんなんって…。(笑)

事:予選では、全戦全勝、ボーナスポイントまでもらって、理想的な形で進まりましたが、正直ここまでの結果を予想されてましたか？

坂:2戦目のアイルランドに勝った時点で日本は強いじゃないか、と言われ始めましたが、次のサモアもとても強く、全力で当たらなければ負けてしまうようなチームに対して、テレビとか「勝って当たり前」のように言われたりと、そこらへんの温度差はありましたね。

事:サモア戦はとって日本優勢だったと感じましたが。

松:そんな事もなかったですよ。負ければ終わりなので、どのチームもみんな必死です。

坂:試合自体はテストマッチも大会も同じ事をやっているわけですが、ワールドカップは国を背負っているという重圧をすごく感じました。

事:次のワールドカップは、より凄い結果を期待してもいいですか？

松:今回(日本が敗れた)南アフリカが優勝となって、それがモチベーションになったというか、とても強いチームですが、絶対に勝てない相手ではないと感じました。今回相手のペースになってしまった部分があって、そこを挽回できれば、ベスト4、決勝、優勝というのも、夢ではないと思っています。

事:4年後もお二人は当然代表入りを狙いますよね。

松:今回僕たちは控えが多かったのも、チームとしてはいい結果が出て嬉しかったですけど、個人としては悔しさも残っていて、4年後にぶつけるしかないなと。ワールドカップでしか返せないと思うので。

坂:組み合わせも凄く大事なため、今の世界ランクを落とさずにいることが重要。テストマッチで負けると、

世界ランクも落ちていって、代表戦でもいいクジが引けなくなってくるので、まずはこれからのトップリーグが大事だと感じています。

※今回の結果により、日本は次期ワールドカップの出場権を獲得しています。

事: 4年後ではなく、既に次のワールドカップが始まっているということですね。是非新しくファンになった皆さんも、これからトップリーグにも足を運んでもらえたらと思いますが、そんな皆さんにメッセージをお願いします。

坂: 観に来てほしいですね。これから各地で試合が行われるので、僕らプレイヤーも面白いゲームになるように一生懸命ラグビーしますので、実際の迫力を感じてもらいたいです。

松: 今シーズンは熊谷での試合が多く、大泉の方も比較的観に来てやすいかと思います。ファンサービスがあつたりと、ワールドカップより選手との距離も近くなるので是非来て頂けたら。

内: チケットが取れないんですよ！でも3月の秩父宮は頑張って取りました！

坂: ワールドカップは規定でファンサービスが禁止だったのですが、これからの試合は、時間は限られるかもしれませんが、是非みんなやりたいと思ってます。

事: 坂手さんは今年キャプテンになられましたが、大泉の人たちに一言。

坂: せっかく練習場も近いので、ぜひ練習を見に来てください。選手たちとすぐそばで会えますよ。みんなフレンドリーですし、是非クラブハウスに来てほしいと思います。太田での練習日もHPに掲載してますので！

内: これからもっと選手の皆さんにお会いしたいです！